

第12回 大館市バリアフリーまちづくり 推進協議会 説明資料

協議検討事項

- (1) 特定事業計画の進捗状況について ……(資料1、資料2)
- (2) バリアフリーに関する取り組みについて ……(資料1)
 - 1. バリアフリーに関する主な取り組みについて(福祉課)
 - 2. 大館市まちなか店舗等バリアフリー改修促進事業について(都市計画課)
- (3) 大館駅前地区都市再生整備計画の事後評価について ……(資料3、参考資料1～3)
- (4) 国土交通省より情報提供

特定事業計画について

2

■公共交通特定事業

施策	対象	事業者	目標時期			継続実施
			短期	中期	長期	
駅舎のバリアフリー整備	JR大館駅	東日本旅客鉄道(株)	○			

■道路特定事業

施策	対象	事業者	目標時期			継続実施
			短期	中期	長期	
歩行空間の改善	大館駅東大館線	大館市土木課	協議 検討			
	【御成1丁目～清水1丁目】					
歩行空間の改善	大館駅東大館線	大館市土木課	協議検討			
	【中道1丁目～豊町】					

■交通安全特定事業

施策	対象	事業者	目標時期			継続実施
			短期	中期	長期	
道路環境の改善	市内	公安委員会(大館警察署)				○

■教育啓発特定事業

施策	対象	事業者	目標時期			継続実施
			短期	中期	長期	
駅員・乗務員のバリアフリー教育の推進	社員	東日本旅客鉄道(株)				○
バリアフリー教室の開催	市内小学校	大館市学校教育課				○
障害者差別解消のための普及啓発活動の実施	市内	大館市福祉課				○
朗読ボランティア・手話点訳者等の普及啓発	市内	大館市福祉課				○
障害者スポーツを通じた障害者への理解増進と障害者の社会参加の促進	市内	大館市スポーツ振興課				○

特定事業計画の進捗状況について

3

特定事業計画の進捗状況について(資料2参照)

- ・特定事業計画(ハード事業)14事業のうち、完了した事業は11件の79%。
公共交通特定事業計画はすべての事業(11件)が完了。
- ・事業を着手し実施中の事業は3件、未着手の事業は0件。
道路特定事業計画の3事業が着手。
- ・特定事業計画(ソフト事業)は、すべての事業が継続的に実施している。

<事業種別の進捗状況>

特定事業計画(ハード事業)

令和7年2月14日時点

特定事業計画 (ハード事業)		事業数	完了	実施中	未着手
公共交通		11	11 (7)	0 (4)	0 (0)
道路		3	0 (0)	3 (1)	0 (2)
合計	件数	14	11 (7)	3 (5)	0 (2)
	進捗率		79% (50%)		

※カッコ内は令和5年度末時点

特定事業計画(ソフト事業)

令和7年2月14日時点

特定事業計画 (ソフト事業)		事業数	継続実施中
交通安全		1	1 (1)
教育啓発		6	6 (6)
合計	件数	7	7 (7)
	実施率		100% (100%)

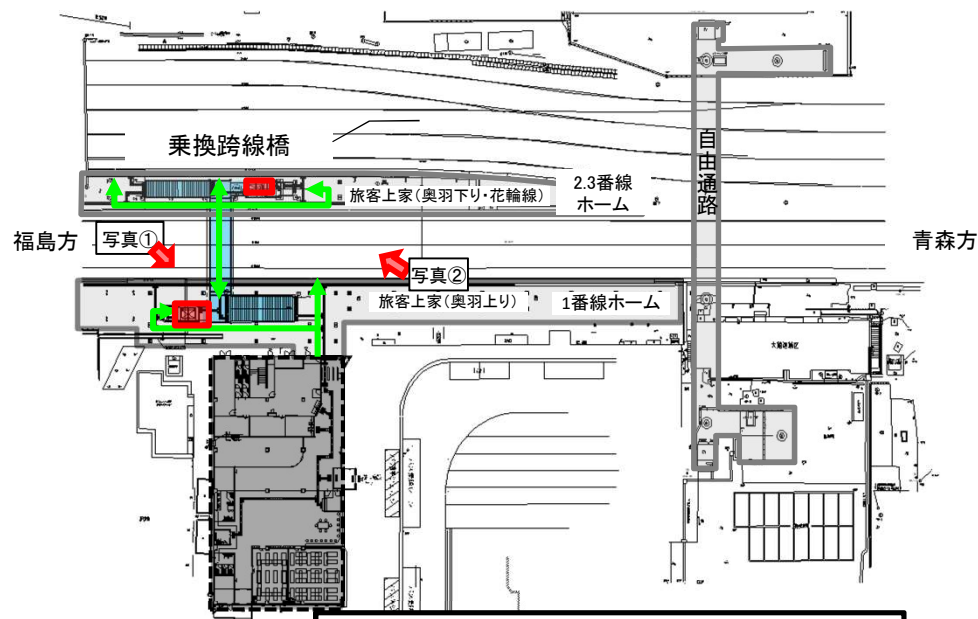
※カッコ内は令和5年度末時点

大館駅バリアフリーに関する取り組みについて

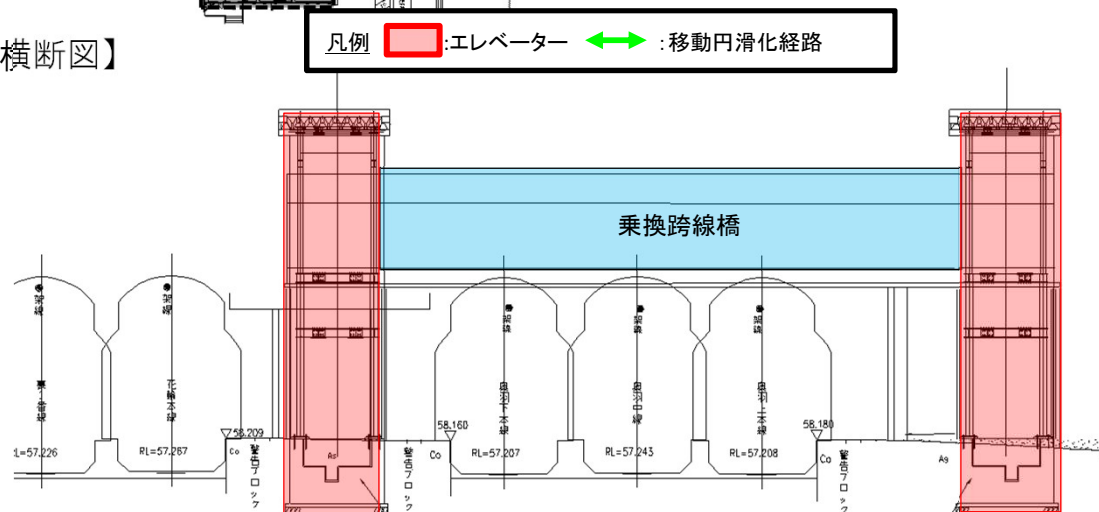
JR秋田支社

大館エレベーターについて

【全体平面図】



【横断図】



【完成写真】

写真①：1 番線ホーム



写真②：2・3 番線ホーム



1.バリアフリーに関する主な取り組み(福祉課)

①遠隔窓口手話通訳システムの導入

令和6年9月
福祉課窓口での
運用開始



大館市 9月導入

大館市は、耳が不自由な人が来庁した際にビデオ通話で手話通訳を利用できる遠隔サービスを提供している。事前申し込みは不要。市役所本庁舎階の福祉課に専用のタブレット端末を置いてあるほか、その他の窓口などにはスマートフォンでもサービスを使えるQRコードを配置している。筆談や音声で文字起こしする機能も備え、手話ができない人にも対応している。

サービスを利用する
と、県外にある手話通訳コールセンターにビデオ通話につながる。手話通訳士が画面上に映し出され、窓口職員の手話で伝えるほか、利用者が手話の場合は職員に向け

て通訳する。端末に文字を書ける筆談と、話した言葉を文字起こしする音声認識も選択できる。端末がない場所では、スマホなどでQRコードを読み取れば同様のサービスを利用できる。無料

遠隔手話で窓口対応

だが、市役所本庁舎などWi-Fi環境が整っていない場所以外では、通信量が自己負担となる。本庁舎以外のQRコード設置場所は三ノ丸庁舎、田代、比内西総合支所、各公民館、秋田大の里、大館郷土博物館、市民サービスセンター、総合病院、恵徳病院など。

ビデオ通話やスマホ活用

遠隔サービスは市消防本部の救急車に配備しているスマホでも利用可能。搬送時に通訳を介し手話で症状などを救急隊員に伝えられる。

従来は筆談や通訳者を派遣するサービスの活用などに対応していた。市は2019年に県内市町村で初の手話通訳条例を施行しており、市議会や聴覚障害者団体から窓口に通訳を置く要望が出ていた。しかし対応が困難なことから、情報通信技術(ICT)を活用しようとして、筆談が提供しているサービスの導入を決定した。

大館市はこのほか、耳が聞こえない人向けに筆談対応や聴覚障害者用ホーンも福祉課の窓口設置。「骨伝導」に対し痛みが出にくいなどの利点があるため、試験的に導入した。本庁舎内の別の窓口でも貸し出して利用できるようにする。(伊藤慶仁)

福祉課窓口には軟骨伝導イヤホンも設置されている

令和6年11月7日 秋田魁新報に記事掲載

聴覚障害者、難聴者等の意思疎通支援について

聴覚障害者が来庁した際の窓口対応として、筆談のほか次の2点を実施。

1. 手話通訳が必要な方へビデオ通話による遠隔手話通訳を提供
2. 難聴者、中途失聴者など発話が可能な方に対し、音声文字自動翻訳による意思疎通支援

窓口での手続きの際に、タブレット端末を使った遠隔手話通訳、筆談、音声認識が利用できます。

手話通訳が必要な方はビデオ通話による遠隔手話通訳をご利用できます。また筆談や音声認識機能を使って、行政手続きが行えます。



① 遠隔手話

窓口で手話通訳コールセンターへビデオ通話をつなぎ、画面を通して手話通訳を行います。



② 筆 談

タブレット画面に指でタッチし、筆談ができます。



③ 音声認識

音声認識により職員の話した言葉を文字で表示します。
(英語など、多言語通訳もできます。)



利用できる窓口 福祉課障害福祉係⑤番窓口

開庁時間 8時30分～17時15分(土日祝日は除く)



二次元コードは市役所各窓口、比内・田代総合支所・公民館・郷土博物館・秋田犬の里・総合病院・扇田病院など50カ所に設置

②集音器付き軟骨伝導イヤホンの導入

加齢などにより耳が聞こえにくいかたや「聞こえ」に不安を感じているかたが、安心して来庁できる環境の整備

軟骨伝導は、「気導(従来の聞こえ)」とも「骨伝導」とも異なる「第3の聴覚経路」と呼ばれており、**耳**の周囲の軟骨に振動を与えて**音**を伝える新しい仕組みです。

- 1.音漏れがしにくく、**大声**での会話も必要なくなり、プライバシーが保てるのが特徴
- 2.補聴器と比べ、イヤホン部分が球状で穴や凸凹がないため清潔に使用



③東京2025デフリンピック応援inおおだて

デフリンピックが日本で初開催

100回目の記念大会（令和7年11月）を本市からも盛り上げるべく、ボッチャ交流会「はちくんオープン」に併せて令和6年11月に手話教室や応援イベントを実施。開催に向け機運醸成に努めた。「先導的共生社会ホストタウン大館」として、きこえない・きこえづらい人・**聴覚**障害等の理解啓発を行った。



東京2025
はちくんと
いっしょに！**デフリンピック**
～おおだてから応援しよう～

R6.11.24（日）9：00～16：00
会場：タクミアリーナ 2Fロビー
（大館市樹海体育館）【申込不要】
住所：大館市上代野字八幡岱29-4 TEL0186-43-7136

デフリンピックを学ぼう！	どんな障がいがあるの？
● デフリンピックの歴史 ● デフスポーツ ● 動画やイラストで紹介します！	● 障がいってなあに？ 疑問にお答えします ● 体験コーナーもあるよ！

【問合せ先】
大館市役所福祉部福祉課
障害福祉係 担当 渡部
〒017-0855 大館市字中城20番地
TEL：0186-43-7052
FAX：0186-42-8532
e-mail：sya-fks@city.odate.lg.jp

※館内は土足禁止です
上履きをご持参ください

令和 6 年度 大館市まちなか店舗等 バリアフリー改修促進事業

大館市 建設部 都市計画課

補助事業の概要1

～補助額・補助対象工事～

昨年度から
変更なし



十分な広さと設備を
確保したトイレ



出入口前の手すり付きスロープ



段差の解消や、
通過しやすい戸の設置

バリアフリー改修の例



身障者・高齢者用の駐車場を整備



車いすでも使える客席の整備

このほか、
廊下・階段・表示板について
バリアフリー改修を
行うなど

合計額10万円以上(税抜き)の【設計費+工事費】について

費用の50%(上限50万円※)を補助します!

※ ゆとりあるトイレ整備などは、**上限100万円!**



補助事業の概要2

～期間・対象者・対象施設～

昨年度から
基本的に
変更なし

期間

受付開始：
令和6年4月1日(月)から
実績報告は
令和7年3月20日(木)まで

対象者

★施設を運営されている方または所有されている方。
★市内に居住していない・本社が市外にあるなどの場合も補助対象。

対象施設

不特定多数のかた、高齢者・障害者等が主に利用する施設

- ・病院、診療所
- ・高齢者、障害者の福祉施設(グループホームなどの「居住系」は対象外)
- ・物品販売業を営む店舗
- ・ホテル、旅館
- ・公衆浴場
- ・飲食店
- ・サービス業を営む店舗(理美容店、クリーニング店、銀行、etc...)

令和6年度の補助金予算:150万円
(通常のバリアフリー改修3件を見込む)

昨年度から
変更なし

早口地区

早口駅

奥羽本線

米代川

外川原

外川原橋

伊勢堂下

杉子沢

出口

板地

長板塚地

みのり台

大森

△122.2

△186.4

39

42

66

大館市役所
周辺地区

桂城小

市役所本庁舎

大館県立高等学校

東大館駅

秋田職業
能力開発
短期大学

昨年度の実績

物件:【牛角大館店 飲食業】

Before



After



エントランスポーチ床面の
石畳仕上げ(段差)を解消



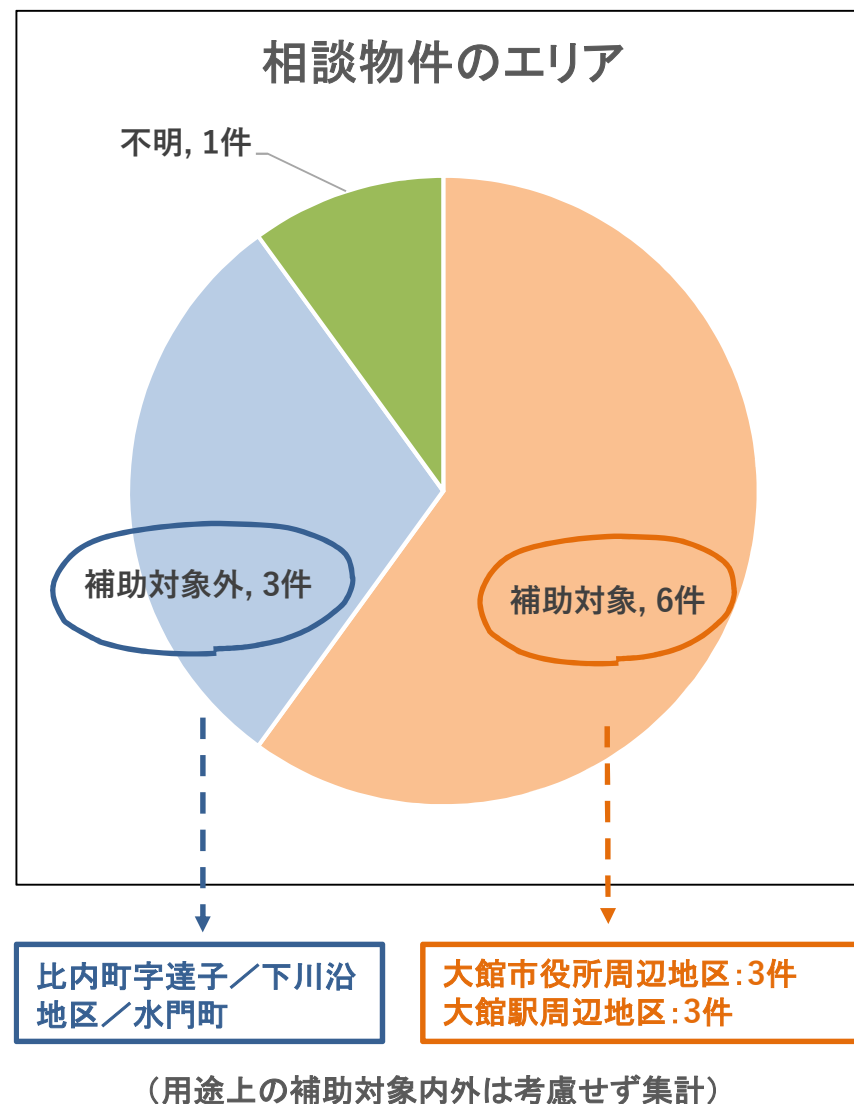
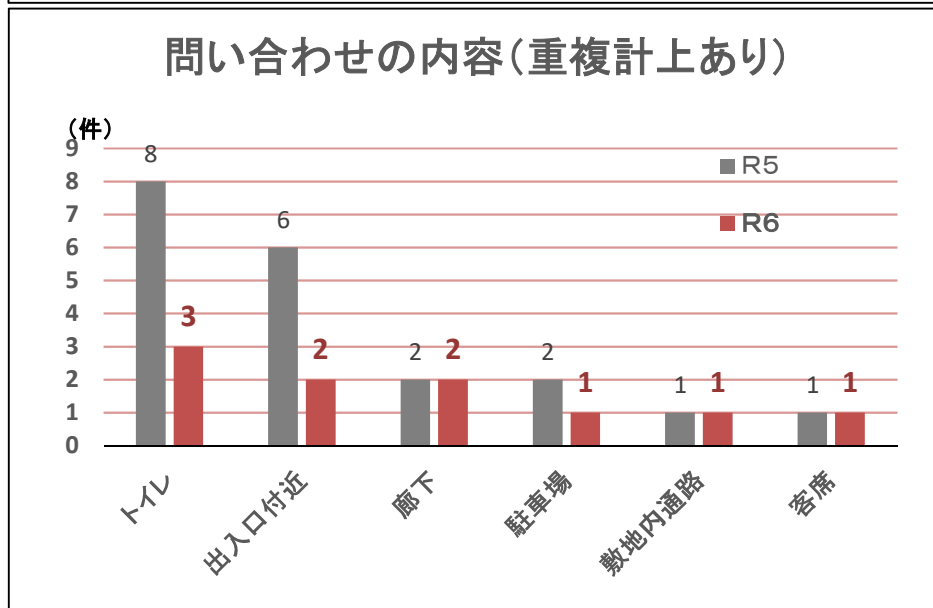
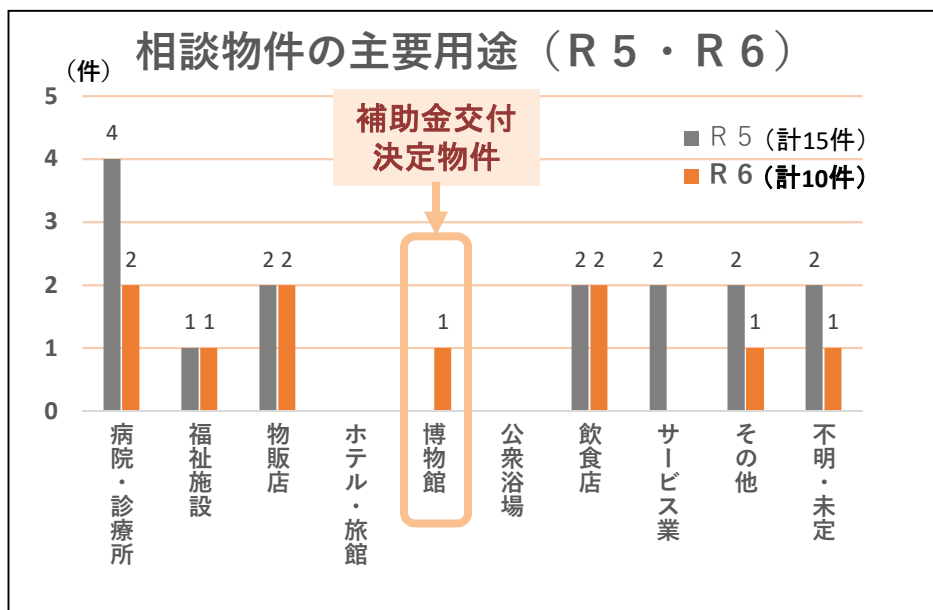
出入口の段差を解消



廊下床面の
石畳仕上げ(段差)を解消

事業に対する問い合わせ

今年度の物件数:10件
R7.2.4時点



まとめ

★昨年度よりも問い合わせ件数が減少(15件→10件)。

昨年度から引き続き事前協議を続けている案件もあり。

★申請件数は昨年度と同じ1件だったが、工事の規模は昨年度よりも大きい(工事の規模:36万→134万)。今年度申請された施設については、来年度もこの補助を利用し、バリアフリー化を充実させる工事を計画中。

★補助対象とならなかった事例(昨年度と同様、問い合わせの半分が補助対象外)

○補助対象エリア外だった(3件)。 ○補助対象施設に該当しない(2件)。

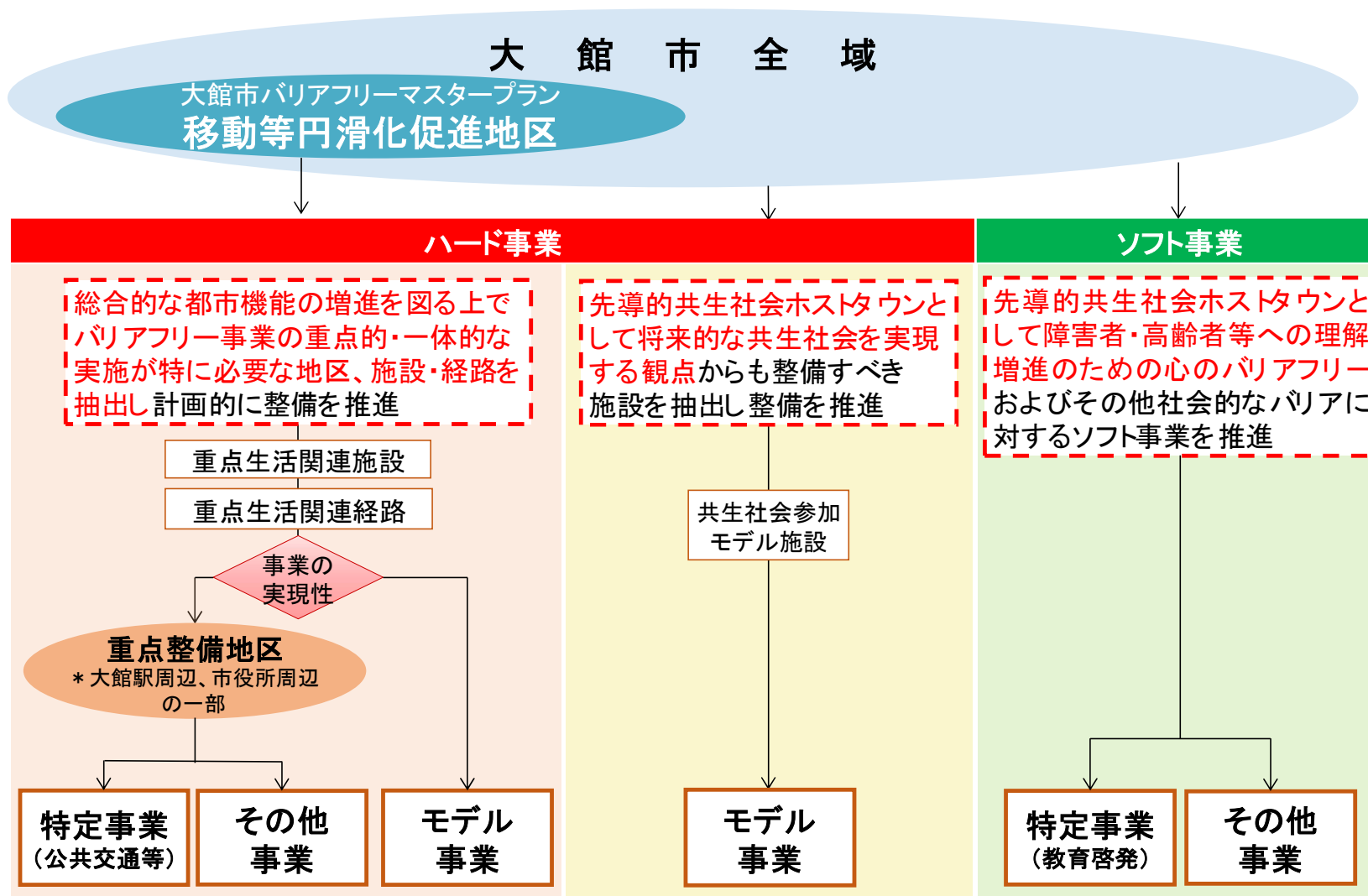
○既存建物の構造の制約により、補助対象の条件を満たす水準の改修が出来ない(敷地から屋内までの高低差が大きく、基準を満たすスロープが確保できない)(1件)。

○施工者が市内業者に該当しない(1件)。

補助事業となる工事をわかりやすく伝えるため、実際に補助が利用された改修内容を事例としてHPに載せるなどしていきたい。

来年度は事業開始から3年目。これまでの相談者や各方面からの意見を踏まえ、必要に応じて補助対象エリアや補助額の見直しなども視野に入れつつ進めていきたい。

令和3年度策定 バリアフリー基本構想について

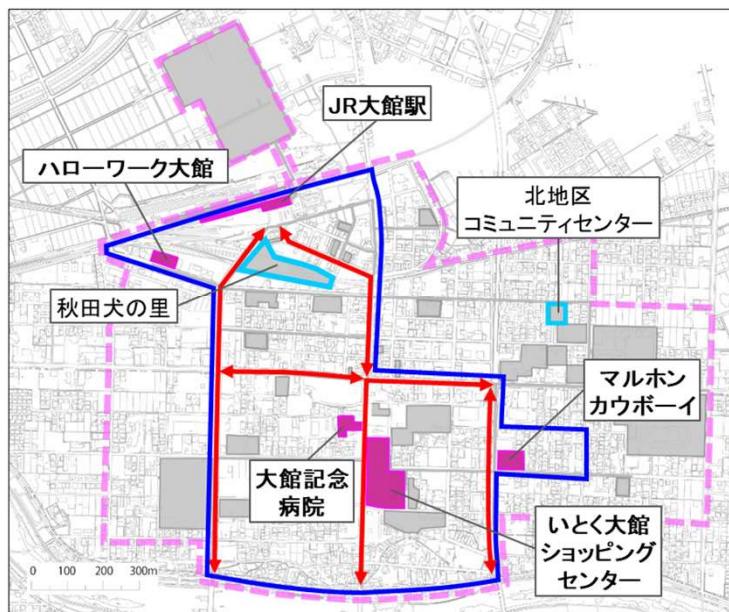


特定事業計画について

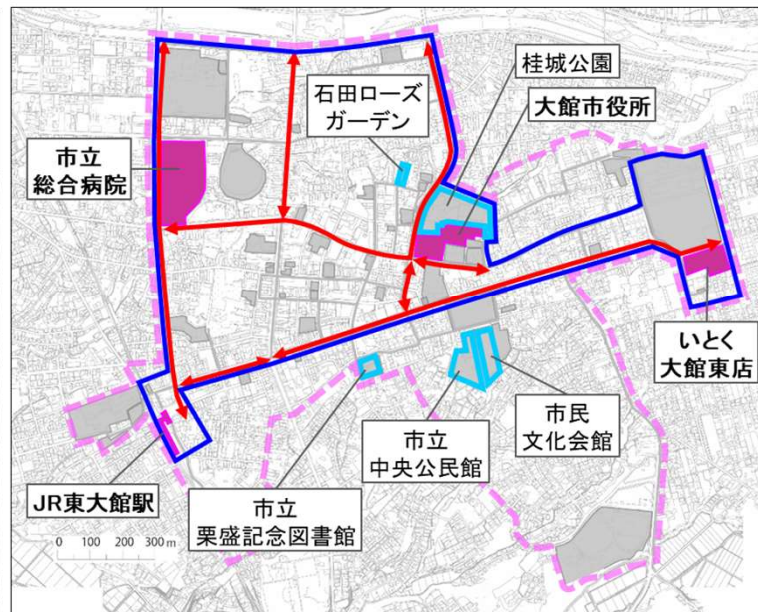
3

重点整備地区及び移動等円滑化促進地区、共生社会参加モデル施設について

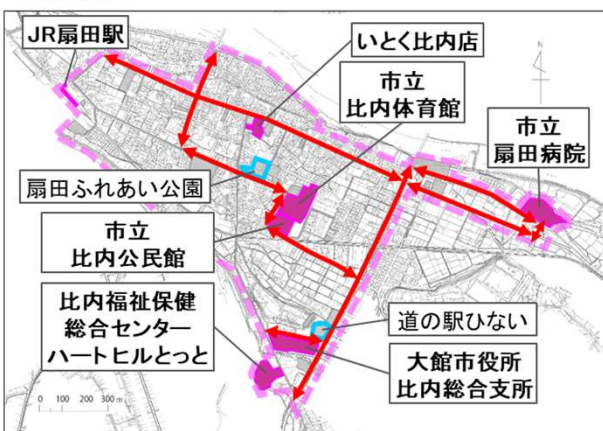
■大館駅周辺地区



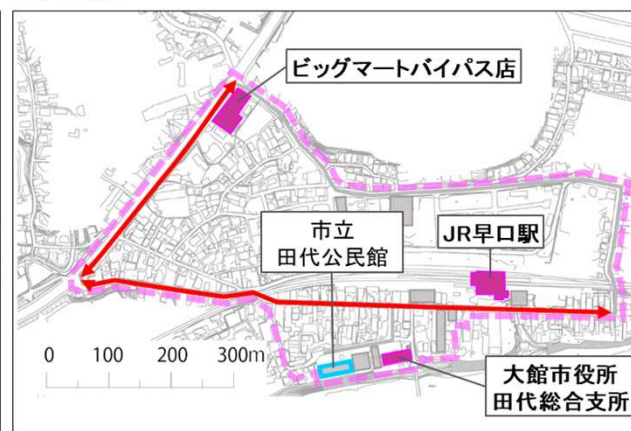
■大館市役所周辺地区



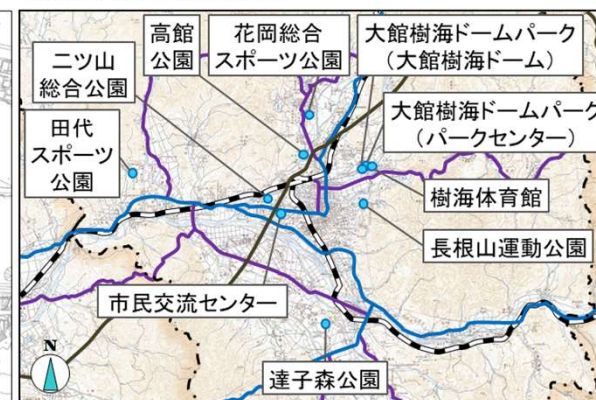
■扇田地区



■早口地区



■移動等円滑化促進地区外



「心のバリアフリー」とは…

全ての人が
平等に参加できる社会や環境について考え
必要な行動を続けること

- 「障害の社会モデル」(※1)を理解すること
- 差別を行わないよう徹底すること
- 困難や痛みを想像し共感する力を培うこと

(※1) 障がい者が日常生活において受ける制限や苦痛は
社会の様々な障壁（バリア）によって生ずるとする
考え方。